

警察庁によると、2024年中の全国の交通事故死者数は、前年比15人減の2663人で、統計が残る1948年以降で過去3番目に少なくなりました。そのうち65歳以上の高齢者の死者数は、47人増の1513人で全体の56・8%と半数以上を占めています。

都道府県別では、東京が最も多く146人で4年ぶりのワースト、次いで、愛知、千葉、大阪、埼玉、神

交通事故死者数の状況

奈良・兵庫、北海道の順です。最も少なかったのは鳥根の9人で、次いで鳥取、高知の順となっています。

月別では、12月が最も多く、以降、10月、11月、8月の順となっています。

減少傾向にあるとはいえ、今なお多くの尊い命が交通事故で失われています。

今後も、日頃から一人ひとりが交通ルールの順守に努めましょう。



交通安全口メモ